

目黒区議会議員・無所属 News 坂本史子のLetter

http://sakamoto-fumiko.com/



2017年1月1日
第113号
080・3579・6932
FAX: 3715-0414



全国子育てがしやすい街50

日経 DUAL と日本経済新聞は共同で、共働きと子育てがしやすいまち全国上位 50 都市を調べた。東京 23 区はこの中に 18 区もランクインしているのに、目黒区は入っていない。調査は 25 項目（認可保育所、ファミリーサポートセンター、学童保育クラブなど）

100 点満点で点数化し採点した結果だ。一概に漏れた 5 区が「悪い」とは言いえないが、不名誉であることは確かだ。なぜ目黒区は財政力があるのに子育て支援が弱いのか、と。区の本気度にかかっている。



区分		財政力指数	
区名		2014 年度	2013 年度
総数		0.52	0.52
千代田		0.82	0.81
中央		0.69	0.70
港		1.20	1.26
新宿		0.62	0.63
文京		0.64	0.65
台東		0.43	0.43
墨田		0.38	0.38
江東		0.47	0.47
品川		0.54	0.54
目黒		0.72	0.72
大田		0.51	0.52
世田谷		0.71	0.71
渋谷		0.92	0.95
中野		0.49	0.49
杉並		0.61	0.61
豊島		0.51	0.51
北		0.37	0.37
新川		0.31	0.31
板橋		0.42	0.42
練馬		0.44	0.44
足立		0.33	0.33
葛飾		0.33	0.33
江戸川		0.38	0.39

資料：東京都総務課行政部政課
平成 26 年度 特別区決算状況

中央体育館、大規模改修へ

新宿区の設計会社と 5,000 万円（基本設計、実施設計、耐震補強計画）で契約した。中央体育館は 2020 年トランポリン練習会場に予定されている。設計があがるのは 2018 年 3 月 15 日としていて、丁度 2020 年に向けてどこも工事が混み合う時期である。

実は、この 2 年間でも契約不調が増加していて、技術者不足が顕著になっているのだ。湾岸部でのホテル建設ラッシュも影響してい

るといふ。東京都及び 23 区が同様のオリンピック需要を抱えているとしたら、今から計画的発注をしても遅いくらいだ。

オリンピック需要に押されて、民生方面の建設計画があおりを食う恐れが高い。現に東山小学校等複合施設建設が、また遅れることが明らかになった。こんなに区はのんびりしていいの？建設費高騰と後期遅れで迷惑するのは目黒区民だ！

イルミネーションイベントで住民、迷惑千万

目黒川におけるイルミネーションイベントが「NAKAMEGURO JEWEL DOME 2016」と称し目黒 1 丁目～青葉台 1 丁目付近で、12 月 16 日（金）から 12 月 25 日（日）に開催された。今回はスタンレー電気（株）と東急電鉄（株）がスポンサー企業、東急エージェンシー等が実際のイベントを担った。

これまでも生活環境への悪影響が問題で、住民から強い反対の意見があった。開催場所周辺は、ビルの 2 階以上は住居や事務所が圧倒的に多く、戸建て住宅も混在し、一昨年は通常の乗降客数の何倍もの見物客、酔客が押し寄せ生活道路を占拠された住民は、往来さえ困難になったほどだ。敷地への不法侵入や、騒音、ごみの散乱やトイレ問題も深刻。

そして LED 電球を桜の木に巻き付けるこ

とで、桜への悪影響もある。サクラ基金で区民から 800 万円も集めておきながら、桜の木を痛める行為に行政が手を貸すことに。約 30 万球の LED 電球だが、青色が体に悪いということか、桃色に変更されたのだが…。(11 月 30 日に改善要望を区長宛て提出)



イオンカードを区役所 1 階で売る？!

WAON カードという。12 月 16 日にダイエー碑文谷店後にイオンスタイル碑文谷がオープンした。イオン（株）と目黒区は包括連携協定を締結し、子育て、高齢者支援、防災等包括的に協定書を 12 月 15 日に調印した。これは板橋区、江戸川区でもやっている。

それで、標記の WAON カードだが、このめぐる WAON カードで支払われた金額の 0.1% が目黒区に寄付され、子育て支援に使われるということだ。この寄付に免じて、区役所でイオンカードを販売させたというわけ。しかし営利企業が物品販売を行うことはほとんど無く、例外規定についてはキチリ精査するべきだ。

3 回目の、立ち退き代替相談会

洗足 1 丁目、原町 1 丁目地区の 46 線道路拡幅で立ち退きを迫られている土地所有、建物所有、借家人等の地権者 200 人向けに、第 3 回目の相談会（1 月 15 日（日））が行われる。

昨年 11 月 23 日には区主催で、2 組 3 名、12 月 3 日は東京都都市づくり公社主催でファイナンシャルプランナーが 2 組 3 名の相談にのった。3 回目は UR 相談員の税理士が講演会と個別相談会を行う。いずれにしても 2020 年に事業完了何て、拙速な進め方には反対だ。



夢花保育園（中町 2）が不正請求

その額は 245 万円。地域交流加算金と、保健師の架空勤務（3 か月）分だ。目黒区のそれは「軽微」なものだったが、すでに 2 年前に法人の所在地で兵庫県から立入検査がされ、理事長親族による給与及び手当支払い問題が発覚し、合わせて 1 億 2 千万円もの不正

正会計処理が指摘されていたのだ。港区でも返還請求があったり、理事長等が解任されたことなど事件になっていたのだから、区はもっと早く調査に乗り出すべきだった。（目黒区は同園に返還請求をしており同時に改善要求を行った。）

オスプレイあわやの事故、東京上空も無縁ではない、横田と木更津にも配備予定

羽田増便と軍用機の飛行で混雑する空？!

一機 100 億円のオスプレイが沖縄で墜落し大破。空中給油中のホースをプロペラが切断して制御不能に、と報道されたが、徹底的な事実究明が、むしろ日本政府の責任ではないか。市街地を避けたパイロットを褒めるべきだと在日米軍将校がのろけたのがお門違いも堂に入っている。一体そんな危険な訓練を市街地上空でやっていたのか。

横田や木更津に配備するというのは、この「欠陥機」である。そのためこのオスプレイを日本以外で購入するところはほとんど無く、

(WIKIPEDIA によると) カナダ、AUE は遭難救助用としてのみ、またイスラエルは買うのを取りやめた。日本のみが突出している。

東村高江地区は 1997 年、1998 年と二度にわたりヘリパッド建設反対の決議をあげ、住民たちは 9 年間も工事に反対して座り込みを続けてきた。その沖縄の海に墜落したのだ。

昨年 9 月 15 日、沖縄北部のやんばるの森の生態系が希少であることから、「やんばる国立公園」が新たに全国 33 番目の国立公園に指定された。

しかし、ここには、ヘリパッドの建設用地である米軍北部訓練場は含まれていない。米軍訓練場をわざわざ指定から外してやんばるの

樹木 2 万本を伐採して工事用道路を作っているのは当の日本政府である。



周知のとおり高江地区には、警視庁を始め 500 人以上の警察官、機動隊員が、特別派遣部隊として派遣されている。

そして、広域派遣に要す「宿泊旅費、手当、車両移送」費用等は国費により支弁されているというし、警視庁募集要項 28 年度（職員Ⅲ類）を見ると初任給は 173,500 円であり相当額の人件費が、所管の警察業務以外で使われている。都公安委員会は一日も早く沖縄県よりの退去を指示するべきだ。（東京都公安委員会あて自治体議員立憲ネットワーク抗議ア

ピール 12.21 に提出)

軍優先で空域は振り分けられている。今後横田空域や木更津空域にオスプレイが加わったとしても民間機との振り分けに替わりはないだろうが、もしも羽田の増便が現実のものになれば、東京上空の安全性に危険が増すことはないのだろうか。



東京新聞 TOKYO Webより

